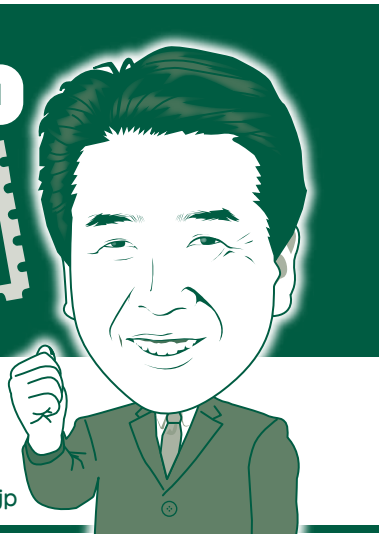
札幌市議会 市政報告 vol.8 2014.11

林せいじ 市政だより



市民が主役の街づくり。

［発行者］札幌市議会民主党・市民連合
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 ☎011-211-3212
林せいじ事務所 〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
☎011-775-6321 FAX011-775-6322
http://hayashi.main.jp/ hayasi-seiji-jimusyo@biscuit.ocn.ne.jp

2014年 第3回 定例札幌市議会閉会

9月22日から11月6日の期間で札幌市議会第3回定例市議会が開催されました。

今定例会の主な議案は2013年度予算の決算認定、補正予算ならび条例などの改正であります。

上田市長は2013年度予算の策定に関しては、中長期的なまちづくりに対する事業に積極的に取り組む予算としており、予算執行にあたっては、効率的かつ合理的な執行と経費の節減に努めたところであり、各会計とも予算に計上した事業はほぼ目的を達成することが出来たことを評価しています。

決算特別委員会にて

当初予算額は8,524億円でありましたが、補正予算は国の緊急経済対策及び除雪費など237億円であり、最終予算額は9,030億円となっていました。予算執行率は94.3%であり、想定していた財政調整基金の取り崩しもせずに済みました。

また、9月11日に発生した集中豪雨による公園や河川敷にあるパークゴルフ場の修復などのための補正予算も提案されました。

札幌市はこれまでもメリハリをつけた予算編成により、効率的な市政運営を行ってきました。その結果、市債残高は全会計で1.9%減となり10年連続減少となりました。しかし、予算に占める市税収入は依然として40%を下回る状況が続いており、健全な財政運営となっていますが、依然として厳しい状況には変わりありません。

今後も効率的な市政運営に努め、メリハリをつけた予算執行をし、将来に負担を残さず、札幌の将来を明るくする市政運営を進めなければならないと考えます。

札幌市議会議員 林 せいじ

札幌市エネルギービジョン策定

札幌市は東日本大震災に伴う福島第1原子力発電所の事故による、エネルギー政策の転換を図るため、議論を進めてきました。2年間の議論により、2022年度までの目標期間で、札幌市エネルギービジョンを策定しました。

今後10年間の札幌市のまちづくりの指針となる、「札幌市まちづくり戦略プラン」において、脱原発依存社会と低炭素社会実現をめざすことを決定しており、エネルギービジョンでは、目標は2022年度を具体的に示しながら、2030年のエネルギー消費量、エネルギー源などを盛り込み、地球温暖化対策推進計画と一体的な進捗をめざします。再生可能エネルギーの普及拡大と省エネ機器導入、省エネ住宅の普及拡大、地産地消のエネルギー源の開発などが主な施策となります。

札幌国際芸術祭2014閉会

札幌国際芸術祭で話題となった「一石を投じる」

次回も札幌から世界へ　現代アートの貴重な情報発信を！

「都市と自然」をテーマに開催された現代アートの祭典「札幌国際芸術祭2014」が9月28日、72日間の全日程を終えました。

当初は現代アートが市民に理解されるのか、メイン会場が都心部の近代美術館と南区の芸術の森美術館が遠く離れていることなど懸念する声もありましたが、来場者は47万人を超え、目標としていた30万人を大きく上回りました。

開会直前にゲストディレクターの坂本龍一氏が病気治療のため来札できなくなり、一部イベントの変更などもありましたが、成功したと言えると思います。

イベントも新設された北3条広場で開催された、「フェスティバルFUKUSHIMA! 北3条広場盆踊り」には4,000人が参加するなど盛り上がりをみせました。また、芸術祭を支える市民ボランティアには1,300人が参加しました。多くの市民からも評価され、3年後の2回目の開催を楽しみにする声も多く出されています。

札幌国際芸術祭は3年ごとに開催するトリエンナーレ方式としております。今後は内容の評価反省を行い、次回開催にむけ、さらに内容のある芸術祭とする検討を進めなければなりません。

第3回定例会 第1部決算特別委員会

質疑より抜粋

今後も積極的に太陽光発電導入を推進

神奈川県川崎市のメガソーラー

環境局への質疑まとめ　太陽光発電の導入拡大について

札幌市エネルギービジョンでは、再生可能エネルギーの導入拡大を施策の柱とし、導入について高い目標を設定しています。

現在、国の太陽光発電パネル設置に対する補助制度が終了していますが、札幌市では独自の個人家庭向け補助制度の拡充を実施しています。国の補助があった時と同等の補助金額としており、太陽光発電パネルを設置する市民ニーズに応える取り組みを行っています。

今年度は消費税増税の影響もあり、設置台数が伸び悩んでいます。引き続き新しい設備などの市民周知を行い、太陽光パネル設置数の増加を進めて行く必要があります。今後も市の取り組み強化がますます重要となってきます。

市民まちづくり局への質疑まとめ　町内会の運営について

町内会運営において、地域に所在する事業所やＮＰＯなどと連携を強め、地域貢献として町内会活動に積極的に参加を促すことも必要です。

また、まちづくりセンターを自主運営している連合町内会が実施している、まちづくり協議会のあり方などは参考になると考えます。

今後も地域の自主的な活動支援を強化することが必要であり、課題としては自主運営まちづくりセンターの職員雇用など運営面での支援強化が必要となります。地域活動の場整備支援事業は町内会などからの要望も強くあり、その重要性を考慮し、今後も継続することを検討して行ってほしい。

議会の様子は動画でもご覧になれます。　http://www.city.sapporo.jp/gikai　札幌市議会　検索

林せいじ活動報告

会派視察

和歌山市
ICTを活用した教育

9月1日会派議員で和歌山市のICTを活用した教育について視察にお伺いしました。

同市は、マイクロソフト社がパソコンなどを用いて学力向上を目指す実証実験「NEXTプロジェクト」に2007年から参加しています。このことにより「ICT活用」と「学力向上」の二つを同時に進めるという意味で「Wプロジェクト」として実施しています。機器の配備とともに教員の授業改善も研究しています。

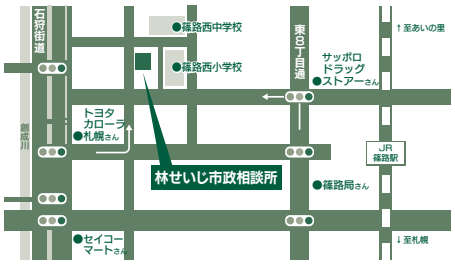
結果として子どもたちもICT活用により、授業に関心を持ち、それが学力向上につながっているデータも示されました。一例としてタブレット端末による、漢字の書き取りを実施し、書き順やハネ、ハライまで正確に身に着けることが出来るようになることが説明されました。電子黒板による授業の進め方なども研究が始まっています。

札幌市においても札幌市教育振興基本計画で「分かる・できる・楽しい授業の推進」を重要項目のひとつとしており、ICTの活用がその目的達成に寄与することとなります。今後ICT活用の研究と機材の配備を急がなければならないと思います。

注）ICT＝情報通信技術

和歌山市ICT活用視察

お知らせ

市政相談の際は、
お気軽にお立ち寄りください。

〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
TEL 011-775-6321　FAX 011-775-6322